

子供宝也

No.4

平成 26 年 4 月 22 日
尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

花がいっぱいの学校に

中庭のハナミズキが少し花をつけてきました。殺風景だった中庭が、庭らしくなったなあとうれしく思います。赤と白を交互に植えて、所々には常緑樹のトネリコを配置しました。早く満開になったところを見たいものです。このうちの何本かは、旭硝子さんが新築のお祝いとして植樹してくださったものです。北面の斜面にはさつきも植えてくださいました。ありがたいことです。当初は、桜を考えていたのですが、桜や梅の伝染病の関係で、尼崎市の花であるハナミズキにしました。急な変更にも、柔軟に対応してくださいました。

中庭をよく見ると、これらの樹木の下の方に、たくさんのプランターが並んでいます。サクラソウ、チューリップ、ビオラ…いろいろな花が正門や中庭、体育館の周りを美しく飾ってくれています。これは、園芸ボランティアのみなさんが昨年度から丹精こめて育ててくださったものです。運動場もなく、花壇もないなかでしたが、少しのスペースを見つけて育てていただきました。ありがたいことです。本当にありがとうございます。

ところで、この園芸ボランティアさんのことですが、人数が足りない状態で困っています。よろしければご参加いただけませんか。教頭までご連絡いただきましたら連絡、調整いたします。

よろしく願いいたします。

う～ん、困ったゾ～！？

本県では、兵庫型教科担任制授業を実施しています。いろいろなやり方があるのですが、本校では、5・6年生の算数の少人数指導と理科と社会の交換授業を行っています。

少人数指導は、1クラスを2つに分けて、およそ20人弱の子どもを対象にして濃密な指導を行おうとするものです。

交換授業は、中学校進学後の教科担任制に順応できるように担任ではない教師が指導にあたるというものです。

良いところがたくさんある仕組みですが、苦勞もあります。

5年3組は5年4組の先生が社会の授業をしていました。教室にやってくると、黒板の真ん中に

「HAPPY BIRTHDAY TO MOEHA」

と書いてあって、かわいい絵も描いてありました。先生はどうするかなあと思って見ていると、「う～ん、もったいないなあ。」と言いながら、授業を始めました。先生は、黒板の空いているところに上手にまとめを書いていきました。

本当は、黒板全体を使って書いていくものなのですが、私は、とっでもうれしくなりました。これを書いた担任の先生の優しさ、それをわかって消さないで授業をした先生の優しさ、ちっとも文句も言わないで楽しそうに勉強していた子どもたちの優しさ…幸せな気分になりました。